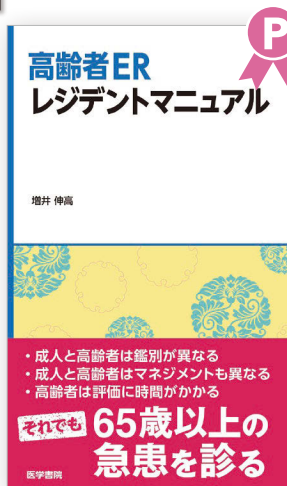


#医学書院の新刊

本欄で紹介した書籍は、読者アンケート(p.890)にご回答いただいた方に、抽選でプレゼントいたします。

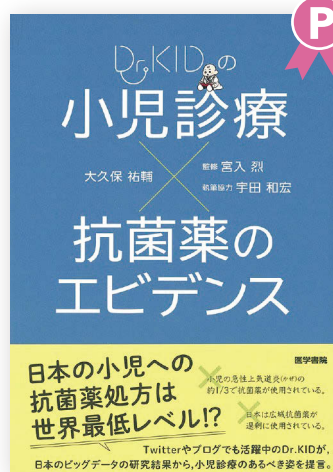


高齢者 ER レジデントマニュアル

増井伸高＝著

本体 3,600 円＋税／B6 変判・298 頁／医学書院／2020

「成人と高齢者は鑑別が異なる。マネジメントも異なる。高齢者は評価に時間がかかる…」そんな悩みを抱える若手医師に向けて、①成人との比較論でない高齢者の特徴、②診断できなくても結局どうするか、③高齢者でも短時間で評価が可能なテクニックを解説した。救急搬送が年間 1 万台の ER で研修医と日々奮闘している筆者が、「高齢救急患者特有の診療・マネジメント」のコツを余すところなく注ぎ込んだマニュアル。



Dr. KID の

小児診療×抗菌薬のエビデンス

宮入 烈＝監修

大久保祐輔＝執筆

宇田和宏＝執筆協力

本体 3,500 円＋税／A5 判・256 頁／医学書院／2020

なぜに抗菌薬は必要ないと知りながら、つい抗菌薬を処方してしまう…。日本の抗菌薬の適正使用は世界最低のレベルにある——。

本書は、小児感染症と疫学領域を融合させながら、日本を代表するデータベースを用いて、小児の抗菌薬処方パターンを分析し、問題点をあぶり出している。Twitter やブログで活躍中の Dr. KID がより良い診療に向けた抗菌薬使用の考え方を提言。統計学や疫学の知識もわかりやすく解説。



《シリーズ ケアをひらく》

「脳コワ」さん支援ガイド

鈴木大介＝著

本体 2,000 円＋税／A5 判・226 頁／医学書院／2020

脳梗塞による「高次脳機能障害」の当事者・鈴木大介さん（『脳が壊れた』新潮新書、他）による最新刊。大人の「発達障害」である“お妻様”（『されど愛しきお妻様—大人の発達障害』の妻と『脳が壊れた』僕の 18 年間 講談社）と自身の“困り事”の共通点から、疾患の枠組みを越え、脳のダメージがゆえに困り事を抱える人を「脳コワ」さんと総称、疾患ごとの〈違い〉に着目する医学＋〈同じ〉困り事に着目する当事者学＝「楽になる」を支える視点から対処法・支援策をガイドした。病名や受傷経緯は違っても、脳が「楽」になれば見えている世界が変わる。それが最高の治療であり、ケアであり、リハビリだ。「脳がコワれた」僕らから、すべての援助者へ！「易疲労性」にも触れられています。